



IODA世界選手権. IODAアジア・オセアニア選手権. IODAヨーロッパ選手権
2024 JODA ナショナルチーム最終選考会
(presented by NTP GROUP)
豊田自動織機 海陽ヨットハーバー
2024年2月21日(水) - 25日(日)



主催	日本オプティミストディンギー協会 (以下、「JODA」という)
大会運営	愛知県ヨット連盟
ホストクラブ	海陽海洋クラブ
オフィシャルパートナー	株式会社 フォーシーズ
特別協賛 (予定)	NTP GROUP
協賛 (いずれも予定)	蒲郡信用金庫. 割烹旅館 三長. PRINTEMPS SUZUKI
後援 (いずれも予定)	愛知県. 愛知県スポーツ協会. 蒲都市. 東愛知新聞社

Notice of Race as 2024.2.5

略語

- [SP] レース委員会、またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティを適用することができる規則を意味する。これは規則63.1及びA5を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定される。
- [NP] 艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。

- 規則
 - 1.1 本選考会には「セーリング競技規則 2021-2024」(以下『規則』という)に定義された規則を適用する。
 - 1.2 規則61.1(a)に(5)として以下を追加する。
抗議する艇は、フィニッシュ後直ちにフィニッシュ・ラインのポートの端に位置するレース委員会艇に抗議の意思を伝えなければならない。艇がリタイヤした場合、最初の適切な機会にレース委員会、またはプロテスト委員会に抗議の意思を伝えなければならない。
 - 1.3 付則Pを適用する。
 - 1.4 付則Tを適用する。
 - [NP] 広告
主催団体から広告を支給された場合、艇に広告を表示しなければならない。
 - 最終選考会を管理する文書
本選考会を管理する文書は、愛知県ヨット連盟ホームページ内に設定される最終選考会webサイトにて入手できる。
 - (1) 会場レイアウト図・海陽ヨットハーバー内での制限事項
 - (2) Race Committee が課すスタンダードペナルティ
 - (3) Technical Committee が課すスタンダードペナルティ
 - (4) 計測ガイダンス
 - 参加資格
 - 4.1 本選考会には以下の選手が参加することができる。
 - i) ナショナルチーム第一次選考会 (第55回 全日本OP級セーリング選手権)で選考された上位40名
 - ii) 2023年度全日本オプティミスト級チームレース選手権大会の準優勝以上のチームの選手
 - 4.2 各選手は、本選考会に関与する以下の要件を満たすチームリーダーまたはコーチを登録しなければならない。
 - i) 2023年度 (公財)日本セーリング連盟の会員
 - ii) JODAアシスタントスタッフ会員
 - 4.3 本選考会の参加資格があるが参加を辞退する選手は、2024年1月6日(土)までに公示5.1にある最終選考会事務局に電子メールで通知すること。
 - 参加申込
 - 5.1 参加資格を満たしている選手は、以下の手続きを行い、参加料を振り込むことで参加申込が完了する。
 - i) 愛知県ヨット連盟ホームページ内に設定される最終選考会web サイト に設定されるオンラインエントリーを登録。
【最終選考会webサイト】 <https://www.ayf.jp/regatta/13595>
 - ii) 最終選考会web サイト で入手できる以下の書類を、最終選考会組織委員会事務局宛に電子メールで送付。
 - (1) 大会参加誓約・同意書：自筆署名の上、PDF化すること。
 - (2) 来会計画書
 - (3) 艇・支援艇搬入計画書
 - 【最終選考会事務局】
2024 JODA ナショナルチーム最終選考会 事務局 篠宮 元子
E-mail : motoco22sailing▲gmail.com (▲を@に置換して送信下さい)
 - 5.2 公示5.1の申込期間は、2023年12月22日(金)~2024年1月12日(金)17時とする。
 - 5.3 参加資格のある選手が公示5.1、公示6の手続きを 2024年1月12日(金) までに完了しなかった場合、本選考会参加を辞退するものとみなし、公示4.1を適用し新たに参加資格を得た選手に通知する。
 - 5.4 参加申込みを完了した選手が 2024年1月26日(金) までに本選考会参加を辞退した場合、公示4.1を適用し新たに参加資格を得た選手に通知する。
 - 5.5 公示5.3、公示5.4により新たに参加資格を得た選手は、2024年2月2日(金) までに公示5.1、公示6の手続きを完了しなければならない。
- 参加料
 - 6.1 参加料は以下のとおり。

選手	27,000円/1艇	これには2月21日(水) - 25日(日) のバース使用料と水洗料が含まれる。
支援者艇	4,000円/1艇	これには2月22日(木) - 25日(日) の無線機レンタル料が含まれる。

※ 支援者艇を2024年1月12日(金)より後に申し込む場合、レイト・エントリー参加料は5,000円とする。

- 6.2 振込については以下のとおり。
- i) 振込名は選手名で振り込むこと。
 - ii) 複数名分をまとめて振り込む場合は、選手名を最終選考会事務局まで電子メールで連絡しなければならない。
- 【振込期限】
2024年1月12日(金)
- 【振込先】
三菱UFJ銀行 千住中央支店 店番 195 普通口座 0240631
口座名義 アイチケンヨットレンメイ レースマネジメントイインカイ シノミヤ モトコ
- 【振込者の入力】
- ① 1艇分振り込みの場合、Sail Noを入力下さい。
(例1 Sail No 4100の場合：4100)
 - ② 1艇分と支援者艇分を振り込みの場合、Sail Noと支援者艇数を入力下さい。
(例2 Sail No 4200. 支援者艇1艇の場合：4200 シン1)
 - ③ 複数艇分を一括振り込みの場合、全ての Sail Noを入力下さい。
(例3 ○○○ジュニアから4300. 4400. 4500の3艇の場合：4300 4400 4500)
 - ④ 複数艇分と支援者艇分を一括振り込みの場合、全ての Sail No と支援者艇数を入力下さい。
(例4 △△△クラブから4600 4700 4800 4900の4艇. 支援者艇2艇の場合：4600 4700 4800 4900 シン2)
- 6.3 参加料振り込み後、2024年1月27日(土)以降は、選手側の要因による不参加に対する返金は行わない。
7. 受付
- 7.1 参加申込みを完了した選手は、以下を持参して最終選考会受付を行い、登録を完了しなければならない。
- i) 選手の2023年度（公財）日本セーリング連盟の会員証（電子データ可）
 - ii) チームリーダーの2023年度（公財）日本セーリング連盟の会員証（電子データ可）
 - iii) 本年度のスポーツ安全保険加入依頼書代表者控えの写し、または公示20で指示する保険額と同等以上の第三者賠償責任保険の保険証券の写し
- 7.2 支援者艇を持ち込むチームは、以下を持参して大会受付を行い、艇の登録を完了しなければならない。
- i) 支援者艇の船舶検査証の写し及びヨット・モーターボート保険証券の写し
 - ii) 支援者艇の責任者の海技免許の写し
8. 日程
- 8.1 本選考会の日程は以下のとおりとする。
- | | | |
|------------|-------------|---|
| 2月21日(水) | 10:00-15:00 | 受付・登録 |
| | 10:30-16:30 | 計測（12:00-12:45 昼休憩） |
| 2月22日(木) | 09:00-09:20 | 開会式 |
| | 09:30-10:00 | オープニング・ブリーフィング |
| | 11:00 | 第1レース予告信号、引き続きレースを行い、3レースを計画している。 |
| 2月23日(金・祝) | 09:00 | デイリー・ブリーフィング |
| | 10:15 | その日の最初のレースの予告信号、引き続きレースを行い、3レースを計画している。 |
| 2月24日(土) | 09:00 | デイリー・ブリーフィング |
| | 10:15 | その日の最初のレースの予告信号、引き続きレースを行い、3レースを計画している。 |
| 2月25日(日) | 08:30 | デイリー・ブリーフィング |
| | 09:45 | その日の最初のレースの予告信号、引き続きレースを行い、3レースを計画している。 |
| | TBA | 成績発表、及びナショナル・チーム参加の意思確認。 |
- 8.2 本選考会は12レースを計画している。
計画しているレースを完了させるため、当日までの計画に対して1レースを越えない限りレースを前倒しすることがある。
- 8.3 2月25日は12:00を越えて予告信号は発せられない。
9. [NP] 艇. 装備. セール
- 9.1 艇は、JODAに登録されたIOD95を使用しなければならない。
- 9.2 本選考会期間中、「ハル」、「ダガーボード」、「ラダー(ティラーとエクステンション付)」、「マスト」、「ブーム」、「スプリット」、および「セール」をそれぞれ1つのみ使用できる。
- 9.3 本選考会では、レジストブックに記載されたセールナンバーを用いなければならない。
10. [DP] [NP] 計測
- 10.1 「計測用紙」に必要事項を記入して、計測当日に計測受付で提出すること。この時有効なレジストブックおよび装備品の計測証明書を持参して、求められた場合には、いつでも提示しなければならない。
- 10.2 計測は最終選考会webサイトで入手できる「計測ガイド」に記載された方法で行う。
- 10.3 選手は本選考会期間中、ハル、ダガーボード、ラダー(ティラーとエクステンション付)、マスト、ブーム、スプリット、セールをそれぞれ1つのみ使用できる。これらの装備は規定に従って大会で計測され、クラス規則に適合していることを、テクニカル委員会が計測用紙にサインすることで承認される。
- 10.4 損傷または紛失した装備の交換は、レガッタ・オフィスで入手することが出来る書式(Request / Inquiry to Committee)に必要事項を記入し、損傷した装備品と交換する装備品の両方についてテクニカル委員会の検査を受けて承認を得なければならない。交換の要請は、最初の適当な機会にテクニカル委員会に行わなければならない。
- 10.5 損傷または紛失した装備の交換が海上の場合、帰着後最初の適当な機会に、損傷した装備と交換した装備品の両方をテクニカル委員会に提示しなければならない。その交換はテクニカル委員会の承認を条件として、過去にさかのぼって認められる。承認は(リクエストフォーム)にサインする。
- 10.6 本選考会は、レジストブックに記載されたセールナンバーで参加することを原則とする。
やむなくセールナンバーを変更する場合は「セールナンバーの一時使用申請書」に記入署名の上 2024年1月23日(火) までに事務局にEメールで送付すること。それ以降の変更は認められない。また送付した「セールナンバーの一時使用申請書」は、プリントアウトして計測時に提出しなければならない。
2024年1月24日(水) 以降、最終選考会組織委員会を納得させる合理的な理由がない限り、セールナンバーの変更は認めない。
新艇購入によるセールナンバーの変更は、合理的な理由には含まれない。
- 10.7 未登録艇は、本選考会開催前までに登録を済ませておくこと。
- 10.8 艇体および装備品のシリアルナンバーが解読不能の場合は、事前に再計測を受けておくこと。本選考会会場での基本計測は行わない。
本選考会は IODA95艇および新型フォイル（エポキシフォイル）のみ使用できる。
- 10.9 電子機器はコンパスと時計機能のみを認める。GPS機能、風向風速、風振れ、艇速、艇の方向、位置に関する機能を持つ装置は禁止する。
- 10.10 計測が完了した艇は、テクニカル委員会の許可なしに本選考会会場から外へ持ち出してはならない。
開催地では、テクニカル委員会の許可を得ない限り、船体及び装備品を洗剤で洗ってはならない。水のみを使用すること。
11. 帆走指示書
- 11.1 帆走指示書は、2024年2月5日(月) までに、最終選考会webサイトに提示する。
- 11.2 帆走指示書に対する事前質問は、2024年2月19日(月) までに最終選考会webサイトにある【リクエストシート】のフォームに入力し提出すること。
事前質問に対する回答は、2月22日(木) のオープニング・ブリーフィングまでに最終選考会webサイトに掲載する。

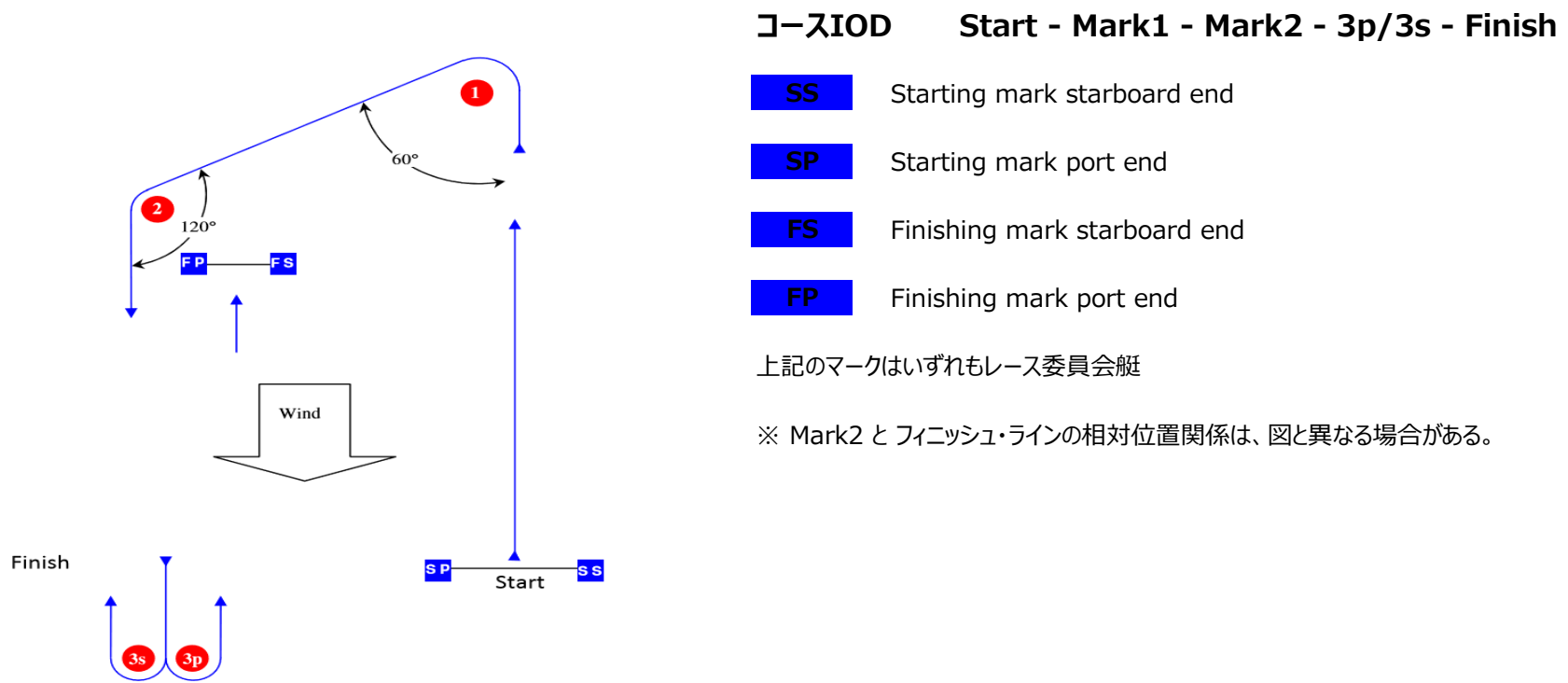
12. レース・エリア
添付図Aは、豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖合のレース・エリアの位置を示している。
13. コース
添付図Bは、艇が帆走するコース「IOD」を示している。
14. ペナルティー方式
規則70.5に規定されるとおり、プロテスト委員会の判決が最終となる。
15. 得点
 - 15.1 本選考会が成立するためには、4レースを完了することが必要である。
 - i) 6レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
 - ii) 6レースから9レースまで完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
 - iii) 10レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い2つを除外したレース得点の合計とする。
16. ナショナルチームの内定
 - 16.1 上位より5名をIODA世界選手権に内定する。他の選手権を選択することはできない。
 - 16.2 それに次ぐ順位の選手は、その選手の意思によりIODAアジア・オセアニア選手権、またはIODAヨーロッパ選手権に内定する。
(各選手権への参加人数は、閉会式までに各選手権大会主催者と確認した人数にて選考する)
既に一次選考会公示16.3でアジア選手権に内定している選手がいる場合は、その選手を優先する。
その選手がアジア選手権を辞退した場合でも、一次選考会の次位者による繰上げは行わない。
 - 16.3 各大会に内定した選手は、その発表の場において参加の意思表示を行わなければならない。
 - 16.4 参加の意思表示について、「辞退」はできるが「保留」はできない。
 - 16.5 辞退者等の事情により派遣可能最大人数に満たないまま最終位まで到達した場合でも、本選考会に参加していない選手への繰上げ等は行わない。
 - 16.6 本選考会が成立しなかった場合、一次選考会の成績上位者から順に内定する。
 - 16.7 本選考会終了後に内定者がやむを得ない事情で辞退しても、原則以下は行わない。
 - i) 本選考会下位選手への繰り下げ。
 - ii) 内定済選手との組み替え。
 - 16.8 本選考会終了後に内定者を追加する場合、内定されていない上位者(本選考会当日辞退者を含む)より順にヒヤリングをして内定する。
内定済選手との組み替えは原則行わない。
 - 16.9 本選考会終了後に「選手権が不開催」、「派遣中止」となった場合、他の選手権の内定選手との組み替えは原則行わない。
 - 16.10 本選考会終了後に各選手権の参加可能人数の減少が発生した場合、該当選手権内定者の中から本選考会下位の選手から内定を取り消す。
ただし、該当選手権がアジア・オセアニア選手権の場合、一次選考会による内定者は内定を除く。
 - 16.11 内定された選手は、閉会式後の内定者ミーティングに保護者と共に出席しなければならない。
内定者ミーティングにて、内定から正式認定までについて説明を行う。内定者ミーティングは60分から90分を予定している。
 - 16.12 内定された選手が、陸上海上を問わずスポーツマンシップ、フェアプレイの原則および、一般常識から逸脱した行為があったと認められた場合、JODA理事会決議によって内定を取り消すことがある。
 - 16.13 JODAは内定取り消しにともなう、いかなる損害賠償にも応じない。
 - 16.14 最終選考会レース公示(NOR)とJODA 2024NT選考方針との間に、内容の矛盾が生じた場合は、JODA 2024NT選考方針の項目を優先する。
17. [NP] 支援者艇
 - 17.1 支援者艇は、次の条件を満たす場合のみ使用が認められる。
 - i) 公示7、公示8の手続きが完了していること。
 - ii) 対人対物賠償責任が付保されたヨット・モーターボート保険に加入しなければならない。
 - iii) 救助活動に備えて乗員は2名以上とし、救助活動を除き定員の1/2を越えて乗艇させてはならない。
 - iv) 主催団体が貸与する「ピンク色旗」を水面から1.5m以上の高さに掲揚しなければならない。掲揚のためのポールは、支援者で用意しなければならない。
 - v) 主催団体が有償で貸与する無線を出艇から着艇まで、常時傍受しなければならない。
貸与する無線機は傍受専用で、レース委員会からの救助要請時を除き、発信してはならない。
 - vi) レース委員会からの救助活動要請時を除き、常に航行制限範囲を守らなければならない。
 - vii) 主催団体が指定する桟橋以外に係留してはならない。
 - 17.2 豊田自動織機海陽ヨットハーバーへの搬入及び使用手続きは各自で行わなければならない。
18. リスク・ステートメント
規則3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定責任は、その艇のみにある。』とある。
本選考会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的傷害、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
主催団体は、本選考会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。
19. 保険
選手は、対人対物賠償額が各々1億円以上の有効な財団法人スポーツ安全協会のスポーツ保険または同等の第三者賠償責任保険に加入しなければならない。
<http://www.sportsanzen.org/index.html> を参照
20. 選手の肖像権及び個人情報の公開と管理
選手は、本選考会に参加することにより、選考会期間中の選手または選考期間中の選手の装備に関する動画、スチール写真および、生中継、録画あるいは参加中撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく主催団体、運営団体、JODAおよび協賛各社が独自の判断で使用する権利を与えることに同意する。申込みにあたり提出された個人情報、本人の同意がない限り第三者に提供されることはない。
ただし本選考会において、「計測順番表」、「エントリーリスト」、「成績表」について、名前、所属、セール番号、学年、性別が掲載されることがある。
21. [DP] [NP] バースと艇の移動制限
選手は、【会場レイアウト図・海陽ヨットハーバー内での制限事項】により、あらかじめ指定されるバースに艇を保管しなければならない。
また、主催団体またはレース委員会から制限された場所に、一時的な仮置きも含み艇を移動してはならない。
22. [DP] [NP] その他
選手・支援者は、主催団体・競技役員または施設管理者の合理的な指示に従わなければならない。
23. 問い合わせ
本選考会に関する問い合わせは、最終選考会webサイトにある【リクエストシート】のフォームに入力し提出すること。

【添付図A】



N34°47.525' E137°16.125' を中心としたΦ1.4Nmを「レース・エリア」とする。

【添付図B】



三谷港潮汐表

	潮	日の出	日の入	満潮		干潮		月齢
				時刻	潮位(cm)	時刻	潮位	
2月22日(木)	中	6:30	17:40	5:04	186	11:00	64	12.2
				17:31	223	23:46	67	
2月23日(金)	大	6:29	17:41	5:38	187	11:28	53	13.2
				18:01	240	23:32	54	
2月24日(土)	大	6:27	17:42	6:06	186	0:20	59	14.2
				18:28	253	11:53	45	
2月25日(日)	大	6:26	17:43	6:31	185	0:51	54	15.2
				18:54	260	12:17	40	

以下は、レース公示に含まれない一般情報である。

1. 本選考会期間中の連絡はLINEオープンチャットを活用することがある。選手は、機器を準備し、確認できる環境を整えること。
2. 選手は健康保険証、またはそのコピーを持参すること。
3. 本選考会期間中の豊田自動織機海陽ヨットハーバーの開門時間は08:30、閉門時間は17:00である。
4. 艇、支援艇の搬入時期については制限を設けない。
ただし、以下の場合は豊田自動織機海陽ヨットハーバー事務室にて手続きと料金支払を行うこと。
 - i) 艇を2024年2月21日より前に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに持ち込む場合。
 - ii) 艇を2024年2月25日より後に豊田自動織機海陽ヨットハーバーから搬出する場合。
 - iii) 支援艇を持ち込む場合。

5. 豊田自動織機海陽ヨットハーバーの利用料金は以下のとおり。

OP級持込み料	(1艇/1日)	340 円
OP級保管料	(1艇/1月)	3,500 円
艇体水洗料	(1艇/1回)	150 円

支援艇係留・野積料

艇長 (船検証記載)	通常料金 円/日	減免後料金 円/日
5m 未満	1,290	645
5m 以上 6m 未満	1,830	915
6m 以上 7m 未満	2,360	1,180
7m 以上 8m 未満	2,910	1,455
8m 以上 9m 未満	3,440	1,720
9m 以上	3,990	1,995

艇体水洗料	(1艇/1回)	300 円
-------	---------	-------

6. 各日とも海上で昼食を取る場合があるので、各自で用意すること。

ナショナルチーム認定

- 1.1 内定選手は最終選考会後開催されるJODA主催のナショナルチーム合宿に全日程、必ず参加すること。
- 1.2 ナショナルチームに相応しい心技体を保有している内定選手をJODA理事会にて認定する。
- 1.3 JODA理事会により内定選手の認定取り消しがあった場合、最終選考会の下位選手への繰り下げは行わない。
認定後も同様とする。
- 1.4 JODAは認定取り消しにともなう、いかなる損害賠償にも応じない。
- 1.5 ナショナルチーム帯同の役員は、各チームからの申請に基づきJODA理事会にて認定する。
- 1.6 派遣する役員は必ずJSAFおよびJODA会員でなければならない。
- 1.7 世界選手権代表チームについて
 - ・世界選手権代表チームのコーチはJODAと協議の上決定する。
 - ・世界選手権代表チームにはJODAから補助金が支給される。
補助金の内容詳細は、閉会式後の内定者ミーティングまたは、ナショナルチーム合宿にて説明する。
 - ・世界選手権代表チームの国代表には、大会期間中に開催されるIODA総会「AGM」への参加をお願いすることがある。
ただし、JODAから派遣されたときはその限りではない。

不開催、または不成立時の措置

- 1.1 最終選考会が不開催または不成立
年齢条件を満たす全日本選手権の上位選手から順にヒヤリングしてナショナルチームに内定する。
- 1.2 ナショナルチーム合宿が不開催
JODAが内定選手の日頃の活動を個別に確認し認定する。

各種問い合わせ先

計測・艇登録関連

選考会テクニカル委員 宇田川 智

Mail : uomodaka▲gmail.com

学校への派遣依頼文書発行関連

JODA 事務局 菅澤祐輔

Mail joda-office▲googlegroups.com

(▲を@に置換して送信下さい)